

# みんなのなりた

NO. 92 2018年8月1日

発行／成田市議会  
編集／成田市議会広報広聴委員会  
〒286-8585 成田市花崎町760  
Tel 0476-20-1570(直通)  
Fax 0476-24-0336

平成30年6月定例会



## 主な内容

- |              |                    |
|--------------|--------------------|
| 2 6月定例会ハイライト | 13 政務活動費           |
| 3 委員会審査レポート  | 14 市議会フォーカス[常任委員会] |
| 5 議案と審議結果一覧  | 16 議会報告会のご案内       |
| 6 一般質問       | 16 コーヒータイム         |

## 「成田空港開港40周年」

成田空港は開港から40周年を迎えました。  
空港とそこで働かれている方たちを含めた成田の『みんな』は、これからも共に歩み続けていきます。

# 成田市議会からのメッセージ

定例会審議から、くらしにかかわる可決議案、報告などをピックアップします

## 6月定例会ハイライト 16議案を可決・同意・承認

### 税賦課徴収条例等の一部を改正する 条例制定や市有財産の取得など

平成30年6月定例会は、6月1日に招集され6月20日まで20日間の会期で開催しました。定例会の初日には、14議案が上程されました。

一般質問は、6月5日から4日間、19人の議員が登壇して行い、6月8日には追加議案1件が上程されました。6月11日からは各常任委員会、特別委員会を開催しました。

最終日には、議案15件と発議案3件を原案どおり可決・承認するとともに、請願3件を採択しました。また、副市長人事に係る追加議案1件に同意して閉会しました。

【6月定例会の日程】

月日	内容
6月1日(金)	本会議(開会、会期の決定、全議案一括上程)
5日(火)	本会議(一般質問)
6日(水)	本会議(一般質問)
7日(木)	本会議(一般質問)
8日(金)	本会議(一般質問、議案質疑、委員会付託)
11日(月)	空港対策特別委員会、建設水道常任委員会
12日(火)	新市場整備・輸出拠点化等調査特別委員会、経済環境常任委員会
13日(水)	教育民生常任委員会
14日(木)	総務常任委員会
20日(水)	本会議(会議録署名議員指名、議案・請願審議、閉会)

### 安全



救助工作車Ⅲ型のイメージ

### 救助工作車Ⅲ型を配備

救助工作車Ⅲ型が配備されます。阪神・淡路大震災を教訓に設定された、震災対応救助車両です。緊急消防援助隊設備整備費補助金として、国から4,979万9千円が交付される予定です。(総務常任委員会)

### 教育

### 橋賀台小学校の 大規模改造工事



工事が予定されている橋賀台小学校

橋賀台小学校東棟の大規模改造工事(建築工事)を実施します。昭和49年に建築してから44年が経過したため、教育環境の改善と建物の耐久性を確保します。(教育民生常任委員会)

### 国に意見書を提出

6月定例会では、委員会から提出された議案(発議案)を可決し、国および関係行政機関に意見書を提出しました。提出した意見書は次のとおりです。

- 障がい児・者の生きる基盤となる「暮らしの場」の拡充を求める意見書
- 義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書
- 国における平成31年度教育予算拡充に関する意見書



# 委員会審査レポート



※本会議で委員会に付託された主な議案と審査内容の概要および報告された内容の一部を要約して紹介します。

## 総務常任委員会

### 税賦課徴収条例等の一部を改正する条例制定

議案6件をいずれも可決しました。所管事務について、2件の報告を受けました。

地方税法の改正に伴う条例改正により、市民税は、基礎控除額は上がりますが、年金や給与の控除額が下がるので大きな影響はありません。たばこ税については、現在と同じ本数が販売されたとすると、4,300万円ほどの増収になると見込まれます。

## 経済環境常任委員会

### 成田山開基1080年祭記念行事、第16回WBSC世界女子ソフトボール選手権大会開催、災害廃棄物処理計画の策定

所管事務について8件の報告を受けました。

4月28日に開閉した成田山開基1080年祭記念大開帳は、5月28日で結願を迎えました。太鼓祭や市川海老蔵丈による御練り、市民大提灯行列などのイベントが開催され、今後は、成田伝統芸能まつりやNARITA花火大会などで成田山開基1080年を記念した特別な演出を行うなど、引き続き観光客誘致に努めていきます。

第16回WBSC世界女子ソフトボール選手権大会は、8月2日から12日まで開催され、成田市のナスパ・スタジアムを含む県内4会場で試合が行われます。大会の観戦だけでなく観光へとつながるよう、スポーツツーリズムの推進に努めます。

災害廃棄物処理計画の策定は、地域防災計画、千葉県災害廃棄物処理計画などとの整合を図ろうとするものです。



平成29年度に開催されたソフトボールスポーツフェスタin千葉

## 教育民生常任委員会

### 家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正、介護保険法施行規則等の一部を改正する等の省令の施行に伴う関係条例の整備に関する条例制定

議案8件をいずれも可決しました。請願3件をいずれも採択としました。所管事務について、1件の報告を受けました。

現在、代替保育の連携をしている小規模保育事業者は8園中1園ですが、家庭的保育事業等に関する条例改正により、連携の対象が緩和され、連携がしやすくなります。

看護小規模多機能型居宅介護の指定要件は、これまで法人に限られていましたが、訪問看護の確保が難しいことから、介護保険法に関連した条例が改正され、医療機関の開設者にまで緩和されました。

## 建設水道常任委員会

### 橋梁補修工事(郷部大橋)請負契約の変更

議案1件を可決しました。所管事務について3件の報告を受けました。

郷部大橋の補修工事については、桁の損傷部の材質試験を実施したところ、鋼材の表面部より鉛成分が検出されたことから、補修するに当たって、外部への飛散防止対策と作業員の健康障害を防ぐ安全対策を追加して行うことになったものです。

工期が2カ月延長されますが、工期延長による交通規制の変更はなく、極力、交通規制を行わない方向で、業者と最終調整を行っています。



工期が延長された郷部大橋



# 委員会審査レポート

※委員会に報告された内容の一部を要約して紹介します。

## 空港対策特別委員会

### 成田空港のさらなる機能強化、環境影響評価準備書

#### ●成田空港のさらなる機能強化の状況

3月の委員会以降、十余三区ほか3つの区および地区における説明会や、遠山地区騒音対策委員会総会および中郷地区騒音対策協議会総会で、それぞれ説明会を開催したところ、夜間飛行制限の緩和に関する意見のほか、交通渋滞の解消や地域振興策の推進などの要望がありました。

成田空港のさらなる機能強化は3月の合意で新たなスタートを切ったが、機能強化を進める上では、騒音や落下物対策などの課題が残されており、引き続き騒音地域の声をしっかり受け止め、必要な環境対策や地域共生策を推進していきたいとのことでした。

また、内窓設置工事について、先行実施の対象となるA滑走路の騒特法防止地区内における戸数は470戸、谷間地域では800戸で、A滑走路に係る夜間飛行制限緩和に伴う内窓設置が早期に行えるよう、施工方法や想定される事業費などについて、現在協議中です。

#### ●環境影響評価準備書

機能強化に係る環境影響評価準備書の手続きについては、

環境影響評価準備書の送付、公告、縦覧を行い、5月5日に成田国際文化会館で説明会を実施しました。今後は、一般の方の意見について、成田国際空港株式会社の見解をまとめ、関係自治体に送付し、知事からの意見を受領することで、準備書手続きは終了します。準備書には機能強化の実施による環境への影響についての予測および評価の結果と、環境保全措置等が記載されており、大きなポイントとして、「航空機騒音の影響」と「動植物生態系への影響」の2点が挙げられます。

#### ●航空機脱出用スライドドア脱落事案の再発防止策

平成29年9月に発生した航空機脱出用スライドドア脱落事案に係る対策として、原因部品を改良型へと順次交換していく再発防止策を講じ、5月末に同型機全ての改修が完了しました。

#### ●その他

成田国際空港株式会社から2018年夏ダイヤ、2018年3月期連結決算およびカーフェューの弾力的運用の実施状況について報告がありました。

## 新市場整備・輸出拠点化等調査特別委員会

### 卸売市場の再整備、輸出拠点化推進事業

#### ●施設整備の進捗状況

既存物件の解体工事がおおむね終了し、現在は埋蔵文化財調査をしており、7月以降に造成工事を予定しています。また、再整備建設および再整備造成等の基本・実施設計業務委託については、実施設計を完了しました。また、土壌について、独自の調査の結果、改めて汚染がないと確認しました。

#### ●移転に向けた検討・調査等

3月に実施したアンケートで、約65%に当たる22の場内事業者から、新市場への移転に前向きな回答を得ていますが、情報不足を理由に移転の判断が困難と回答した事業者や、移転の費用負担を心配する意見もあり、新市場の使用料や移転支援策、販売促進などについて、場内説明会を逐次開催しています。また、想定される市場全体の管理・運営事業手法として、開業当初は市直営を採用し、徐々に指定管理者へ業務が移行することも考えられるとのことでした。また、高機能物流棟の場内事業者を公募で決定する

ため、6月18日より募集要項の案を公表し、事業者との個別対話を実施した上で正式なものとし、7月下旬に事業者の募集を開始し、9月下旬に選定結果を公表する予定です。

#### ●平成30年度実施事業

「日本の食品輸出EXPO」<sup>(注1)</sup>への出展や、新市場のPR映像およびパンフレットの制作を計画しています。

#### ●場内事業者の輸出拡大に向けた取り組み

成田市場水産物貿易協同組合が、タイ・バンコクで開催された総合見本市に出展し、有望な取引先とネットワークを構築できたため、今後、詳細な商談を継続していきます。

#### ●その他

新生成田市場のPR、平成29年度実施事業などについて報告がありました。

(注1)日本の食品輸出EXPO…日本最大の「食品輸出」のための展示会。農林水産省、JETRO、リードエグジビションジャパン、3者協力のもと、2018年10月に幕張メッセで開催される。世界75カ国から4000名の海外バイヤーが、日本の食品・商材を仕入れに来場する。

# 議案と審議結果一覧

※○=賛成、×=反対、退=退席

議案番号	件名 (件名は一部省略しています)	議決結果	政友クラブ							豪政会			公明党		リベラル	新風成田	共産党	志政会	虹											
			神崎勝	雨宮真吾	湯浅雅明	小澤孝一	秋山忍	荒木博	村嶋照等	石渡孝春	宇都宮高明	海保貞夫	飯島照明	小山利一	神崎信博	上野勝行	青野一山	水上幸彦	大倉富重雄	海保茂喜	伊藤竹夫	油田清	鳥海直樹	星野慎太郎	鬼澤雅弘	荒川さくら	鶴澤治	福島浩一	平良清忠	会津素子
<b>◆議案</b>																														
1	成田市税賦課徴収条例等の一部を改正する条例制定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○
2	成田市都市計画税条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
3	成田市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
4	成田市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
5	介護保険法施行規則等の一部を改正する等の省令の施行に伴う関係条例の整備に関する条例制定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
6	成田市介護保険条例の一部改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
7	専決処分の承認(成田市税賦課徴収条例の一部改正=専決第10号)	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
8	専決処分の承認(成田市都市計画税条例の一部改正=専決第11号)	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
9	専決処分の承認(成田市重度心身障害者の医療費助成に関する条例の一部改正=専決第12号)	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
10	専決処分の承認(成田市国民健康保険税条例の一部改正=専決第13号)	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
11	成田市立橋賀台小学校東棟大規模改造工事(建築工事)請負契約の締結	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
12	成田市立本城小学校増築棟4級併行防音工事(建築工事)請負契約の締結	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
13	市有財産の取得(救助工作車Ⅲ型)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
14	市有財産の取得(小型動力ポンプ付水槽車(10,000L))	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
15	橋梁補修工事(郷部大橋)請負契約の変更	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
16	副市長の選任(小幡 章博)	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○
<b>◆発議案</b>																														
1	障がい児・者の生きる基盤となる「暮らしの場」の拡充を求める意見書	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	×	退	○
2	義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
3	国における平成31年度教育予算拡充に関する意見書	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
<b>◆請願</b>																														
3	障がい児・者の生きる基盤となる「暮らしの場」の拡充を求める請願書	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	×	退	○
4	「義務教育費国庫負担制度の堅持に関する意見書」採択に関する請願書	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
5	「国における平成31(2019)年度教育予算拡充に関する意見書」採択に関する請願書	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※議長(伊藤竹夫)は採決に加わりません。※会派名の略称は次のとおり リベラル=リベラル成田、共産党=日本共産党、虹=虹と緑



ここが知りたい！

# 一般質問

市政に関する一般質問は、6月5日から8日までの4日間行われ、19人の議員が登壇しました。質問と答弁の内容を要約して掲載しています。

※一般質問とは議員が市政の方針や考え方を市長などに聞くものです。



## 子どもの貧困対策を専門とする子ども未来政策室の設置を

1

**問** 東京都足立区では、子どもの貧困対策担当部を設置し、一元的に子どもの貧困対策を進めており、佐賀県武雄市では、平成28年度にこどもの貧困対策課を新設した。子どもの貧困対策は、福祉のみならず他の分野にも広範囲に関わっている。ひとり親家庭の子育て支援を一元的に行うために、子どもの貧困対策に特化した〔仮称〕子ども未来政策室〕の設置を提案するが、考えを伺う。



**答** 現時点において子どもの貧困対策を専門とする部署を設置する考えはないが、庁内の関係部署で構成されている子どもの貧困対策に係る連絡会議を定期的開催するほか、今後もそれぞれの部署が相談窓口となり連携することで、相談者に適した制度の案内を行うとともに、総合的な支援を行いたい。

星野慎太郎 議員



### その他の質問

- ◆ひとり親家庭への子育て支援は
- ◆明石市の、離婚前後のこども養育支援事業を視察して
- ◆フードバンク<sup>(注2)</sup>の周知を

(注2) フードバンク…包装の傷みなどで、品質に問題がないにもかかわらず、市場で流通できなくなった食品を、企業から寄付を受け生活困窮者などに配給する活動や活動を行う団体のこと。

## 2 おたふく風邪・ロタウイルスワクチンへの助成を

**問** WHO<sup>(注3)</sup>はロタウイルスワクチンを子どもの最重要ワクチンの1つに指定した。どんなに貧しい国でも、無料の定期接種に入れ、国民を守るように指示している。また、WHOは、おたふく風邪も先進国では無料化が望ましいと勧告した。ロタウイルスは、腸重積症<sup>ちようじゅうせきしょう</sup>が起こりにくい低年齢での接種が必要だが、他の定期接種の後回しで打てなくなったり、高額な接種料も接種を控える原因になっている。おたふく風邪は、重い合併症を引き起こすことも多くワクチンによる予防が重要と言われる。子どもの健康と命を守るためにはワクチンの無料接種が大切で、市独自の助成を求めるが、見解は。

**答** おたふく風邪とロタウイルスワクチンは現在、国の厚生科学審議会予防接種・ワクチン分科会で、安全性などの調査と検討が継続され、いまだ定期予防接種とされていないため、成田市では助成を行っていない。早期の定期予防接種化を国に対して要望しているので、今後も引き続き国の動向を注視していく。

荒川さくら 議員



### その他の質問

- ◆女性が仕事を続けながら出産・育児ができる取り組み強化を
- ◆待機児童対策は質を確保した認可保育園で
- ◆企業主導型保育の現状と問題点

(注3) WHO…世界保健機関。人間の健康を基本的人権の一つとして捉え、その達成を目的として設立された国際連合の専門機関。

## 3 市長の政治姿勢について

飯島照明  
議員



(注4) AI…人工知能 (artificial intelligence)。人間の知的能力をコンピュータ上で実現する様々な技術・ソフトウェア・コンピューターシステムのこと。

**問** 成田市では、12月に市長選挙が行われる。成田空港の機能強化、医学部付属病院の建設、新市場整備など多くの大規模事業が動き出そうとしている中で選挙を迎えることになるが、3期12年の実績と今後のまちづくりについて、また4期目に向けての市長の考えを伺う。

**答** 平成19年1月に市長に就任して以来、次世代に誇れる空の港まち、生涯を完結できるまちづくりの実現に向けて、全力で市政運営に取り組んできた。多様化・高度化する市民ニーズを的確に把握し、子育て支援、医療・福

祉、空港関係をはじめとする諸課題へ果敢に取り組みとともに、観光振興、スポーツツーリズムなどの施策を積極的に展開し、公約として掲げた各種事業は、ほぼ達成できた。「住みよさランキング」では常に全国の上位に位置し、今後とも人口増が期待できるなど、一定の成果を上げていると考える。この成果を礎に、「愛するふるさと成田」を新たなステージへと導くため、引き続き市政を担いたいと考えている。

### その他の質問

- ◆市役所業務効率化にAI<sup>(注4)</sup>を活用してはどうか
- ◆使われていないプールの活用
- ◆消防団について

## 消防団員の高齢化と健康管理

4

青野勝行  
議員



**問** 成田市では、1,500名を超える消防団員が活動しているが、他の自治体同様、団員の高齢化は深刻である。団員の確保も重要だが、ライフスタイルが多様化する現在、団員の情報の把握が必要だ。大規模災害が危惧されるなか、団員の仕事や体調、住居など、細かい情報を把握する必要があるのではないかと。さらに、少子高齢化が進む現在、消防団の定数や配置等の計画を伺う。

**答** 消防団員の情報については、入団時に健康診断を受診するか、勤務先などの健康診断結果から健康状態の確認を行い、提出され

た入団届で住所や職業など必要な履歴事項を把握しているが、訓練時等の個々の体調管理などは、分団や部といった地域単位で管理している。また、公務災害補償制度の補償に加え、消防団員等福祉共済にも公費で加入し、公務外のけがや病気へのサポート体制をとっている。定数や配置については、女性部が発足し団員数の確保と消防団活動の多様化を図り、一方で3力部の統廃合を行った。機能別消防団をはじめとした新しい取り組みなど、消防団員の活動しやすい環境整備や定員数の確保に努めていく。

## 5 中央公民館の無料学習スペースについて

鳥海直樹  
議員



**問** 3月26日に開催した成田市議会と高校生との意見交換会で、中央公民館の無料学習スペースに隣との間仕切りが欲しいとの要望があった。ここ数年で新しく施設整備された学習スペースは、プライバシーを守る間仕切りや荷物置き場、電源設備などが整備されているのに対し、中央公民館は長机を並べただけで使いづらいと考えるが、今後の整備計画があるのか伺う。

**答** 中央公民館には個人学習用のスペースとして学習コーナー28席を設置しており、平成29年度は延べ6,500人を超

える利用があった。無料学習スペースにおける間仕切りについては、公民館をより快適に利用できるよう、利用者の声を聞きながら設置に努めていく。



### その他の質問

- ◆公共施設の無料学習スペース
- ◆国の定める部活動指導員の制度化
- ◆外部指導者の現況



# 6 遊休農地解消を

福島浩一 議員



**問** 農地を守るためには遊休農地の保全管理が必要不可欠だ。農地に賃借権を設定し、経営規模拡大を目指す農業者や農地所有適格法人に遊休農地の再開に向け作付けした種子代の補助を積極的に行っている自治体もある。農業従事者の高齢化や有害鳥獣被害で営農意欲が減少し、遊休農地が増える中、防止策をどう考えるのか。

**答** 農地中間管理機構などを通じた農地の集積・集約化の促進や国の耕作放棄地再生利用緊急対策交付金などの活用により、遊休農地の解消に向け、関係機関・団体と連携し取り

組んでいる。遊休農地の増加は、農業振興を図る上で憂慮する課題だと認識しており、引き続き農地の集積・集約化を促進するとともに、地域農業の在り方を定めた計画である「人・農地プラン」の策定を積極的に推進し、地域農業の問題を集落で解決できる組織の育成や共同利用機械の導入に対し支援を行うことで、遊休農地の発生防止に努めていく。

### その他の質問

- ◆卸売市場再整備基本計画
- ◆財政上の補助金の考え方

# 7 学校給食の食器、平皿から茶わんへ全面移行を

大倉富重雄 議員



**問** 学習指導要領では、学校における食育の推進が位置付けられ、学校給食の教育的効果を引き出すように取り組むことが重要だとしている。こうした観点から成田市の学校給食の食器を見ると、平皿や茶わんが混在しており、食器の在り方について統一すべきと考えるが、教育委員会の見解を伺う。

**答** 本年度は玉造分所で食器洗浄機改修工事を行い、ご飯などを盛りつける平皿を茶わんに切り替え、正しい配膳となるよう取り組んでいる。今後も、学校給食の充実を図るための取り組みを進める中で、食育に適した食器への移行を図っていく。



成田市共同調理場で使用している食器

### その他の質問

- ◆国の予算の影響として会計年度任用職員制度と公営企業の経営効率化
- ◆一般廃棄物処理基本計画に関してごみ集積所の適正配置とリサイクルプラザ修繕
- ◆母子健康手帳を補完する1つのツールとしてアプリの導入

# 8 清掃工場の処理能力が限界を超えていることについて

会津素子 議員



**問** 清掃工場の供用開始から既に計画処理量を超えているのは、当初の計画の見通しが甘かったと言わざるを得ない。しっかり反省して次へ生かさなければ、また同じことが繰り返されてしまうと思う。今後のごみ処理を考えるに当たって、大学、付属病院、新生市場のごみの排出量をしっかりと想定する必要があるのではないか。

**答** 付属病院の設置や卸売市場の再整備は、ごみを増加させる新たな要因の一つだと認識している。いずれもごみの減量化、資源化に努めてもらい、その他の事業系ごみの減量化策とあわせて事業系ごみの総量を現状以上に増加させない計画としている。



### その他の質問

- ◆成田国際空港株式会社の環境保全措置について
- ◆生物多様性基本法にのっとった保全施策を
- ◆給食が子どもの心身に与える影響について



# 9

## 成田空港の機能強化



神崎 勝 議員

**問** 成田空港の機能強化については、3月13日の四者協議会で最終合意に達し、歴史的な大きな前進を見せた。合意では、滑走路の運用時間については、2020年東京オリンピック・パラリンピックの開催までに夜間飛行時間緩和を先行して実施するとしている。航空機が低騒音化されたとはいえ、夜間の便数が増えることで騒音が体感的には一層強くなる。成田国際空港株式会社はA滑走路側の対策区域で寝室への内窓設置等を先行的かつ集中的に実施するとしているが、どのように進めるのかを伺う。

**答** 寝室への内窓設置は、追加の防音工事とあわせて、その効果が最大限発揮されることで、静穏な室内環境が維持されると考える。対象地域で工事を希望する方には、内窓等の追加防音工事が速やかに実施されるよう、関係機関と共に取り組んでいく。



成田国際空港

### その他の質問

- ◆大学付属病院の建設工事および関連工事
- ◆介護保険

# 11

## 東海第二原発の再稼働中止を

**問** 東日本大震災、福島第一原発事故から7年が過ぎた。福島県では、今でも5万人以上の方々<sup>さん</sup>が避難生活を余儀なくされている。このような中で、巨大な活断層の存在と老朽原発のリスクから、千葉県下市町村議会で再稼働の中止を求め意見書・決議等が広がっている。市長は、東海第二原発の再稼働中止を表明すべきではないか。

**答** 東海第二原子力発電所の原子炉は現在稼働停止となっており、11月下旬までに再稼働の要件を満たさなければ廃炉となる状況である。福島第一原子力発電所の事故を受けて、

国内外でエネルギーをめぐるさまざまな議論がなされてきたところであり、中長期的な方向として原子力発電への依存度の低減に向かうとは考えるが、今後の国におけるエネルギー政策の動向を注視していく。



原子力発電所(写真は川内原発)

### その他の質問

- ◆成田空港の飛行時間拡大は撤回を
- ◆夜間騒音の健康影響調査に全力を
- ◆住民の声が届く市残土規制条例を

## 防災行政無線をもっと防犯に活用できないか

# 10



石渡 孝春 議員

**問** 防災行政無線で行方不明の高齢者を探す放送や、振り込め詐欺に対する注意の呼びかけがある。以前は児童の下校時間にあわせて、子どもたちを見守ってほしいという内容の放送もあった。しかし、高齢者が被害者となる事件は減らず、下校時に小中学生が事件、事故に巻き込まれるケースも多い。いろいろな制約はあると思うが、下校時の子どもたちの見守りのお願いに防災行政無線が活用できないか。

**答** 3月までは成田市内の全小学校が一斉下校となる木曜日の下校時刻にあわせ、子どもたちに交通安全を呼びかけるとともに、地域の方に下校中の安全対策の協力をお願いする内容を防災行政無線で放送していた。6月末まではなりたメール配信サービスを予定しているが、7月以降に放送を再開する予定である。なお、この放送については、従来どおり週1回で考えている。

### その他の質問

- ◆防災行政無線の聞こえ方に対する市民の声は
- ◆中学生の部活動、運動部では人数に偏りがあると聞か現状は
- ◆中学生の部活動、スポーツ庁のガイドラインへの対応



鵜澤 治 議員

# 12 はたけだ 畑ヶ田地区基盤整備における新駅構想

雨宮真吾  
議員



**問** 畑ヶ田地区で付属病院を核とした医療関連産業の集積を促進し、市の中心拠点などへのアクセス性を高めることで国家戦略特区を活用した国際的な医療拠点の形成を図る事業が計画されている。今年度は都市計画マスタープランに掲げた新駅構想を中心とするそうだが、具体的内容とタイムスケジュールは。

**答** 国内外主要路線を数多く有する成田空港を擁し、新薬や医療機器の臨床試験施設となる大学病院が立地することは医療関連産業の集積を促進する強みになり、近接した場所で医療関連産業を集積できる都市基盤が整備され

れば進出する企業には大きなメリットになるという調査結果がある。新駅構想は、京成本線の成田駅と空港第2ビル駅の間地点に当たる吉倉地区に位置付け、成田市が目指す大学病院を核とした医療関連産業の集積や住環境の整備など新たな都市基盤整備において、アクセスを強化し交通拠点となる鉄道構想駅の設置は不可欠だと認識している。具体的な内容とスケジュールは、今年度実施する吉倉地区周辺におけるまちづくり基本調査の結果を踏まえ検討していきたい。

その他の質問

◆自治会の在り方

# 成田空港のさらなる機能強化に関する今後の取り組み

# 13

**問** 成田空港のさらなる機能強化に関する今後の取り組みとして確認書にある環境対策の騒音区域の設定などについての考えは。また、再要望回答書には住民生活環境への負担増とその軽減についての検討、健康影響調査を含む生活環境への影響調査が書かれているが、見解は。

**答** 3月13日に締結した四者協議会の確認書では、騒特法に基づく防止地区と谷間地域で寝室に内窓設置を実施し、A滑走路側の対策区域で追加防音工事を先行的、集中的に実施するとしており、速やかに実施されるよう関係機関と

共に取り組んでいく。隣接区域でも地域住民の生活環境の保全のため、サッシの部品交換をはじめとする工事内容の拡充や、現在の隣接区域内で補助対象となる家屋の基準日を見直し、対象範囲を広げることを関係機関と協議したい。健康影響調査については、騒音地域の方から要望のある調査対象を全戸とすることや対象年齢の引き下げも働きかけ、夜間飛行制限緩和による健康影響についてしっかり検証するよう求めていく。

その他の質問

- ◆新生成田市場の移転・再整備
- ◆防災計画による施策
- ◆市民協働について

水上幸彦  
議員



# 14 救急体制の充実を

村嶋照等  
議員



**問** 平成29年の全国の救急車の出動はおよそ634万件に達し、搬送者も約573万人に上る。千葉県では約31万件、およそ28万人が搬送された。千葉県では30分以上搬送先が決まらない場合などの条件を定め、千葉市の3病院が救急患者を受け入れることにした。東京都でも早く改善に努め、病院の意識が変わり救急隊員の負担も減少したとのことだ。成田市の救急体制、特に搬送時間短縮に向けた取り組みを伺う。

**答** 成田市の救急車の搬送時間は徐々に短縮している。市内や近隣の医療機

関に8割以上の患者を収容できたことが主な要因だと考える。成田市では4署4分署に救急隊を配置し運用しており、平成29年の救急出動は6,975件で、搬送人員は6,149人だったが、入院の必要のない軽症者が半数を占め、救急車の適正利用が全国的に大きな課題になっている。救急隊員の現場活動時間を短縮する各種訓練とあわせ、市民向けの救命講習で救急車の適正利用を呼びかけているほか、引き続き、広報なりたや市のホームページ、各種行事などを通じて啓発し、所要時間の短縮とさらなる救急体制の充実に努めていく。

その他の質問

◆農作業事故防止対策



# 15 区・自治会管理の防犯灯を市が一括管理し経費削減を

鬼澤雅弘議員



**問** 区・自治会等が管理している維持管理費補助の対象になっている防犯灯の灯数と、電気料金としてかかる費用への年間の補助額は。また、防犯灯をLED化した場合に補助額は大幅に削減されるのではないか。

**答** 維持管理費補助の対象となる防犯灯は、3月末現在で1万1,705灯あり、内訳は蛍光灯が1,555灯、水銀灯が9,143灯、LED灯が1,007灯である。電気料金としてかかる費用に対する補助額は、平成29年度で約6,300万円である。成田市内の一般的な水銀灯を、LED灯に更新した場合、電気料金は約3分の1に、

また蛍光灯をLED灯に更新した場合、約3分の2になり、電気料金に係る補助額は大幅な削減になると思われる。



### その他の質問

- ◆中台運動公園の体育館空調設置工事と利用料金改定
- ◆大谷津運動公園野球場の整備予定と利用開始時期は
- ◆成田空港のさらなる機能強化合意後の残された課題は

# 自転車通行空間の現状と検証、その課題は

16

海保茂喜議員

**問** 自転車事故が増加している現状において、JR成田駅西口から成田警察署までの区間に、自転車と歩行者の整流化を図るため、自転車通行空間が整備された。現状と検証、そして課題について伺う。

**答** 平成25年12月定例会の交通対策特別委員会での提言を受け、自転車通行帯の路面表示を試験的に実施した。歩行者へのアンケート調査では、整備前と比べ、安心して通行できるようになった、交通マナーを意識するようになったとする意見が半数を超え、整備を進めるべきとする意見は95%に上っている。ま

た、自転車に関する事故が整備前の1年間と比較し半減するなど、一定の効果が見られる。成田市内には、歩道のない路線も多く存在し課題はあるが、平成28年度に定めた自転車通行空間に関する整備方針に基づき、整備を進めていく。



JR成田駅西口の自転車通行空間



### その他の質問

- ◆科学的知見に基づく飛行制限緩和の根拠は
- ◆県内で相次ぐ新駅構想、土屋駅の展望は
- ◆子どもが学校に行かない・行けないのは

# 17 付属病院ができることによる新駅構想

神崎利一議員



**問** 新駅構想には平成30年度の予算で2,000万円の調査費用が計上されている。私も前に計画があった京成成田駅と空港間の新駅構想の復活を議会で要望した。松戸市では、平成29年度末に開業した市立総合医療センターに近い場所での新駅構想に関し、JR東日本と合意に至り、活性化を図るために宅地開発を進めると報道されていた。これは非常に成田市の現状と似ている。いま一度、新駅構想についての考えを伺う。

**答** 松戸市は成田市の現状とよく似ているが、成田市はさらに空港の機能強

化という大きな人口増等の要因も含んでいる。高齢化社会の到来の中、コンパクトシティ<sup>(注5)</sup>を目指すまちづくり事業で長期的な見通しを立てた上で、さらに人口増加の受け皿を整えなければならない。吉倉地先の新駅構想事業は空港、新しい病院の周辺の開発という意味でも位置付けたもので、今後のまちづくりにとって必要な事業だと認識している。今後も地域の皆さまの協力をいただきながら、事業を進めていきたい。

### その他の質問

- ◆空港機能強化は地方創生としているが、内容は
- ◆公設成田市場の移転について

(注5) コンパクトシティ…都市的土地利用の郊外への拡大を抑制すると同時に中心市街地の活性化が図られた、生活に必要な諸機能が近接した効率的で持続可能な都市、それを目指した都市政策のこと。

# 18 1歳6カ月児健診における発達障害の早期発見を

一山貴志  
議員



**問** 顔テレビといわれるゲイズファインダー<sup>(注6)</sup>は、子どもの目線の動きを測定することで、社会性の発達について評価する装置である。子どもの社会性の発達、人への興味や指さしへの反応性などについて、保護者と客観的な結果を共有して、子どもの発達への理解を深めるためのツールとして、乳幼児健診等での活用が、モデル的に進められている。ぜひこのゲイズファインダーを導入してほしいと考えるが、見解を伺う。

**答** ゲイズファインダーは、子どもの身体的な苦痛を伴わず短時間での検査で、一部

の発達障害の診断を補うが、診断結果によっては、保護者に対し過度の心理的負担や育児困難感を生じさせ、その後の療育の取り組みに影響を与えるなどの可能性もあると考えている。まずは、先進的に導入している自治体の情報を収集し、研究していく。



## その他の質問

- ◆自殺防止対策
- ◆児童生徒への心肺蘇生教育
- ◆教職員へのAED講習の実施状況

(注6)ゲイズファインダー…社会性発達評価装置のこと。日本独自に開発された装置で、子どもが約2分画面を見ることで、社会性発達を評価できる。

# 19 ごみ出しが困難な高齢者世帯への支援を

19

油田清  
議員

**問** 高齢者世帯でのごみ出しは、分別してごみステーションへ運ぶのが体力的に困難であり、エレベーターのない高層住宅では、なおさら大変である。夏場は臭いもあり、人に頼むのも遠慮し、ごみ屋敷状態に陥る危険性すらある。ごみ出し困難高齢者世帯の問題は、既に自己努力で解決を図る段階を超えていると考えますが、どのような支援を考えているのか。

**答** ごみ出しなどの生活支援は、シルバー人材センターや社会福祉協議会による家事援助サービスなどがあり、地域住民同士で助け合い活動を展開している地域もある。全国的に

は、高齢の方や身体などに障がいのある方への、家庭ごみ訪問収集事業を実施している例もあるが、成田市のように、ごみの収集を委託している自治体では難しい。まずは、高齢者世帯などでごみ出しが困難な方の実態の把握に努め、他市の取り組み事例も研究していきたい。



## その他の質問

- ◆勤労会館の利便性を高める施策
- ◆地方公務員法および地方自治法の一部改正に伴う非常勤職員の待遇改善

## 議会基本条例の検証を行いました

議会の最高規範として定めた成田市議会基本条例では、条例の目的が達成されているか検証することを規定しています。

平成27年4月1日の条例施行から3年が経過したこともあり、これまでの成田市議会の取り組みについて、条文ごとに実施状況を整理し、これからの課題や方策を協議しました。

今後は、この検証結果を基に、さらなる取り組みが求められるものについては、速やかに検討を進めてまいります。

なお、検証結果については、市議会ホームページでご覧いただけます。

成田市議会 基本条例

検索

### 議会基本条例

議会の在り方を市民に対して宣言するもので、議会の「最高規範」といえるものです。北海道夕張市の破たん<sup>くろやまちよ</sup>で、議会が監視機能を果たせなかったことを受け、襟を正そうと隣町の栗山町議会が2006年に制定しました。以来、議会改革の柱として全国各地の議会が制定。執行部とのなれ合いを排して競い合うといった趣旨で議会の役割を再定義し、公開度を上げて説明責任を果たすなど、活性化のた

めの運営ルールを定めることが特徴となっています。

成田市議会では、議会のさらなる活性化と市民に開かれた議会を目指すため、議会基本条例の制定に向けて、平成25年9月17日に議会改革特別委員会を設置し、約1年8カ月にわたり多くの協議を行い、平成26年12月定例会最終日の本会議で「成田市議会基本条例」を委員会発議により提案し、全員一致で可決しています。



## 平成29年度 政務活動費の各会派別収支報告

政務活動費は、議員の調査研究その他の活動に役立てるため必要な経費の一部として、地方自治法に基づいて条例に定めるところにより会派(所属議員が1人の場合でも会派とみなします。)に対して交付されるものです。

成田市では、政務活動費の年額について、議会における会派の所属議員数に72万円を乗じた額を交付しています。

各会派は、毎年度末に領収証等の必要書類を添えて収支報告書を議長に提出し、残額がある場合は、市に返還しています。また、収支報告一覧は、市議会ホームページで公表しています。

会派名	人数(人)	交付額(円)	支出額合計(円)	残 額(円)
政友クラブ	10	7,200,000	8,469,860	0
豪政会	5	3,480,000	3,053,735	426,265
成田自民の会	3	360,000	372,324	0
公明党	3	2,160,000	1,354,154	805,846
リベラル成田	3	2,160,000	2,365,061	0
新風成田	3	2,160,000	2,146,753	13,247
日本共産党	2	1,440,000	1,384,113	55,887
志政会	2	1,200,000	1,428,242	0
虹と緑	1	720,000	1,206,258	0

会派名	支出額	支出内訳						
		調査研究費	研修費	広報費	資料作成費	資料購入費	人件費	事務所費
政友クラブ	8,469,860	1,511,027	119,480	5,872,456	167,352	728,081	16,200	55,264
豪政会	3,053,735	793,966	341,420	1,600,000	85,418	220,749	0	12,182
成田自民の会	372,324	0	0	282,900	0	0	0	89,424
公明党	1,354,154	250,755	140,450	759,869	27,856	175,224	0	0
リベラル成田	2,365,061	196,359	5,000	1,955,697	114,865	93,140	0	0
新風成田	2,146,753	266,244	72,300	1,499,540	55,848	252,821	0	0
日本共産党	1,384,113	81,278	0	835,793	21,368	71,738	0	373,936
志政会	1,428,242	0	208,504	658,881	2,160	111,577	0	447,120
虹と緑	1,206,258	32,172	8,488	1,162,636	0	0	0	2,962

※項目のうち「広聴費」、「要請及び陳情活動費」、「会議費」は、全会派で支出が無かったため表に含めていません。

※交付額と支出額について、支出超過分は会派が負担しています。

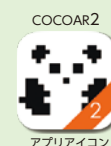
※平成29年6月1日成田自民の会解散

※平成29年6月1日志政会結成

### 表紙で撮影した成田空港のムービーがスマートフォンで見られます

スマホアプリ「COCOAR 2」をインストールして、本紙の表紙にかざすと、特別に撮影させていただいた成田空港内の写真のスライドショーが始まります。

※見ることができる期間は2019年7月31日までです。ご了承ください。



# 常任委員会って何？

市議会では取り扱う問題は数も多く、内容も幅広い分野にわたっています。そこで、これらをいくつかの部門に分けて専門的、効率的に審査するため本会議の他に委員会が設けられています。

成田市議会には、常設の「常任委員会」、必要に応じて設置する「特別委員会」、議会の運営に関することを協議する「議会運営委員会」があります。

今回は、総務、教育民生、経済環境、建設水道の4つの常任委員会にフォーカスします。



## 市議会の流れ

**本会議**  
(議案の説明、質疑)

担当委員会へ  
割り振る(付託)

**委員会**  
(議案、請願・陳情の審査)

委員長が  
結果報告

**本会議**  
(議決)

委員会では次の順序で審査されます。審査された結果は本会議で委員長が報告し、議員全員で採決されます。

**議案の説明**

執行部が議案を詳しく説明します。

**質疑**

委員が執行部に対し、疑問点など質疑を行います。

**討論**

賛成または反対の立場を明確にして討論します。

**表決**

賛成委員は挙手し、挙手者が過半数の場合、可決すべきものと決定します。

## Q & A



委員会は何をしているの？

条例の制定・改廃や予算などの議案の審査のほか、市民から提出された請願や陳情の審査を行っています。この審査は予備的なもので、議会は委員会の審査に基づいて、本会議で最終的な意思決定を行います。委員会は他にも所管事務の調査を行っています。



委員会を見ることはできるの？

誰でも傍聴することができます。また、パソコンやスマートフォンでもライブ映像を配信していますので、自宅などでもご覧になれます。



委員会はどこで行われているの？

市役所議会棟3階の委員会室で行われます。開催日時は、ホームページで確認ください。  
※傍聴受付は、市役所議会棟2階の議会事務局となります。



あとで委員会の内容を知りたいときはどうすればいいの？

成田市議会のホームページから会議録を閲覧することができます。





## 成田市議会の常任委員会を紹介します

### 総務常任委員会

企画政策部、総務部、財政部、空港部、会計室、監査委員、選挙管理委員会、消防、議会の所管に属する事項および他の常任委員会の所管に属さない事項について審査・調査をする委員会です。

平成29年中は議案27件と諮問1件を審査しました。



三里塚消防署の視察

#### 【最近の活動】

6月14日には、三里塚消防署の市内視察を行いました。

6月27日から29日にかけて、宮城県仙台市に仙台市地域防災リーダー(SBL)について、岩手県一関市に移住・定住施策について、岩手県盛岡市に行政評価の取り組みと指定管理者制度の第三者評価について視察してきました。



仙台市の視察

### 経済環境常任委員会

シティプロモーション部、環境部、経済部、農業委員会の所管に属する事項について審査・調査をする委員会です。

平成29年中は議案17件を審査しました。



成田富里いずみ清掃工場の視察

#### 【最近の活動】

6月12日には、成田富里いずみ清掃工場の市内視察を行いました。

6月25日から27日にかけて、北海道函館市に観光施策とごみの減量化・資源化について、北海道とまこまい苫小牧市にごみの減量化について視察してきました。



函館市の視察

### 教育民生常任委員会

市民生活部、福祉部、健康子ども部、教育委員会の所管に属する事項について審査・調査をする委員会です。

平成29年中は議案29件と請願2件を審査しました。



酒田市の視察

#### 【最近の活動】

6月25日から27日にかけて、秋田県横手市に学力向上の取り組みについて、山形県酒田市にネウボラ<sup>(注7)</sup>の取り組みと子育て世代包括支援センターについて、山形県天童市にピンクリボン推進事業について視察してきました。



天童市の視察

### 建設水道常任委員会

土木部、都市部、水道部の所管に属する事項について審査・調査をする委員会です。

平成29年中は議案18件と請願1件を審査しました。



郷部大橋補修工事の視察

#### 【最近の活動】

7月5日には、郷部大橋補修工事の市内視察を行いました。

7月31日から8月1日にかけて予定されている視察の勉強会を開催しました。熊本県熊本市に熊本市立地適正化計画の取り組みについて、福岡県久留米市に空き家バンクについて視察を行う予定です。



熊本市・久留米市視察前の勉強会

(注7)ネウボラ…フィンランドで、妊娠期から出産、子どもの就学前までの間、母子とその家族を支援する目的で、地方自治体が設置、運営する拠点、また出産・子育て支援制度のこと。

# 議会報告会を開催します

成田市議会では、議会の活性化と市民に開かれた議会の実現のため、議会報告会を下記のとおり開催いたします。この報告会では、定例会における審議の内容や過程の説明のほか、参加者との意見交換などを予定しております。多くの皆さまのご来場をお待ちしておりますので、ぜひご参加ください。

開催日	時間	会場
平成30年 11月3日(土)	午前10時～正午	もりんぴあこうづ
	午後2時～4時	成田市役所 議会棟3階 委員会室

※参加を希望される方は当日直接会場へお越しください。各会場とも駐車場に限りがありますので、なるべく公共交通機関をご利用ください。

※託児・手話通訳を希望される方は、10月31日(水)までに議会事務局にお申し込みください。

※詳しくはホームページをご覧ください。

平成29年度に開催された  
議会報告会



## 全国市議会議長会より 表彰状・感謝状

永年にわたり、地方自治の発展と市政の進展に尽力された功績により、次の5氏が全国市議会議長会から表彰されました。

また、伊藤竹夫議長には、市議会議長会理事としての功績に対し、感謝状が贈られました。



宇都宮高明 議員  
《議員在職31年》



神崎利一 議員  
《議員在職15年》



伊藤竹夫 議長  
《議員在職15年》《感謝状》



海保茂喜 議員  
《議員在職15年》



荒木博 議員  
《議員在職15年》

## コーヒータイム



平成30年7月豪雨の被災者の方々にお悔やみとお見舞いを申し上げます。さて、20世紀末以降、阪神淡路大震災、新潟県中越地震、東日本大震災、熊本地震そして今年、大阪府北部での地震が発生し、尊い命が奪われています。これまでマグニチュード7.0前後の大地震は、40件を超えています。先般、総務常任委員会で仙台市を視察し、宮城県沖地震を教訓に仙台市地域防災リーダーを組織し、自主防災組織活動のサポートや災害時の救出、救護、避難誘導、避難所運営等で活躍しているとのことでした。成田市も、自主防災組織の設立や避難所運営委員会の立ち上げに市民の皆さまと共に取り組んでいます。いつ起きるか分からない大地震、常日頃の準備が必要です。隣近所の声の掛け合いが必要です。

広報広聴委員 小山昭

9月定例会は、**8月31日(金)** 開会予定です。

「成田市議会だより」についてのお問い合わせは、議会事務局へ。

〒286-8585 成田市花崎町760  
TEL 0476 (20) 1570  
FAX 0476 (24) 0336

成田市議会

検索